

特色類型選抜者第二回集会 2022. 5. 9

医療・福祉・スポーツの職業について知る

大阪医専 加藤秀樹さんのお話



◎お話を聞き、自分が思っている以上に医療関係の仕事があること、医療の仕事の大変さ、そしてチーム医療についても知ることができました。私は、看護師や助産師の仕事に興味があり、看護医療・健康類型にきましたが、知らなかった医療職がたくさんあることを知りました。今回のように、たくさんの仕事を知り、触れることができる看護医療・健康類型は、ほんとうに恵まれていると思いました。作業療法士は、名前は知っていましたが、仕事内容についてははじめて知りました。やりがいがあり、患者のためになる仕事だと思いました。今まで、理学療法士と作業療法士の違いを分かっていませんでしたが、知ることができたので良かったです。臨床工学技士の仕事をはじめて知りました。難しそうでしたが、やりがいのある仕事だと思いました。知らない職業について知ることができ、知っていた職業についてはさらに詳しく知ることができ、良い機会になりました。もっともっと他の職業について知り、将来、自分が就く職業をしっかり決めていこうと思います。

◎進路のことは3年生になってから考えるものだと思っていました。しかし、入学してからよく進路についてのアンケートを書いてきました。その時から進路のことを考えておくのだと思い、焦りました。そのアンケートも何もわからず記入してしまい、貴重なアンケートを無駄にしてしまったと思いました。今回、将来の進路について1時間、話を聞いて視野がすごく広がりました。私はずっとスポーツトレーナーという国家資格があるものだと思っていました。しかし、それは違って驚きました。思い込んでいたことと違ったことばかりで、びっくりしたのと同時に、1年次から貴重なお話を聞けてありがたく思いました。今回聞いた話を頭に入れながら、進路を決めていこうと思いました。入学して少ししか経過していないと思うのではなく、次のことを考えなければいけないという気持ちで日々の生活を送っていきたいと思いました。

◎・・・視能訓練士や柔道整復師など自分の知らない職種があって、まだまだ自分の知らない仕事が沢山あるのだと思いました。今のところ、救急救命士の資格を取り、救急車に乗り人を助けるという夢があります。そう思うようになったのは妹がお菓子の袋を誤飲した際に、自分が何もできず、悔しかったからです。救急車が来て妹を運んでいってくれました。運んでいってくれた時、安心しました。完全に安心できるのは大丈夫という言葉聞いてからなのですが、何故か救急車の存在が自分を安心させてくれたのです。そのようなことがあり、救急救命士を目指すようになりました。今回で救急救命士が具体的にどのようなことをしているのかを聞くことができてとてもためになりました。

◎看護師だけではなく、理学療法士や放射線技師という仕事に興味を持つことができました。この機会がなかったら私はこの2つの職業に興味を持つことが出来なかったのだととてもよい機会になりました。今後は自分が興味をもった仕事を調べていくなどしてさらに知識を増やしていきたいです。これからも医療のことについて調べて色々な仕事に興味を持っていきたいです。また高齢者とのコミュニケーションを取りたいと思い、これからはあまおだ地域応援隊の活動に積極的に参加したいと思いました。その活動で自分から色々な人に話しかけ、コミュニケーションを取りたいです。

